

# 学生会だより

## 関東学生会の概要と 学生会の活動

関東学生会は、東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨の全8ブロックから構成されており、45の会員校が参加している。2012年2月現在の学生員会員数は1255名であり、日本機械学会内の各支部の学生会の中で規模が最も大きい。また、関東学生会ではブロックごとの活動が活発であり、工場見学会、企業技術者との交流会、学生コンテストなどさまざまな活動が行われている。以下では、学生会の主な行事の最近の活動状況を述べる。

### 1. 第一回会員校会

毎年上半期の始めに開催され、役員選出、学生会の広報誌「JSME-dia」の執筆担当ブロックの選出、年間活動報告、予算報告等を行う。今年度は2012年6月2日に開催され、会員校運営委員54名の学生が参加した(図1)。今年度は委員長校として首都大学東京が選出され、阿久津郁子さんが委員長に選ばれた。会員校会後には懇親会を開催し、大学間での学生の交流が盛んに行われた。



図1 第一回会員校会

### 2. 全体交流会

学生が企業見学を通して産業界の実態に触れるとともに、企業技術者との交流を図ることを目的に、企業見学、技術者による講演、交流会を毎年行っている。昨年度は2011年11月22日に(株)東芝 青梅事業所に

実施された(図2)。青梅事業所では、ノートPCやHDDの試作ライン、品質評価、クリーンルームを見学し、講演では開発秘話などを聴講した。交流会では、学生と技術者の活発な意見交換が行われた。



図2 全体交流会((株)東芝 青梅事業所)

### 3. 学生員卒業研究発表講演会

毎年3月の卒業時期に開催され、学生の一年間の研究成果を発表する機会を提供している。今年度は2012年3月9日に日本大学生産工学部津田沼キャンパスにおいて、第51回学生員卒業研究発表講演会が開催された。学生員による307件の研究が、1セッション4~5件で16室に分かれて発表された。恒例により学生が司会を務め、スムーズに運営された。卒業研究発表ではすべての発表について各室3名の審査員により、与えられた時間内で研究を論理的に明瞭に、わかりやすく発表を行い、さらに質疑に対する的確に回答できたかに重点が置かれた審査が行われ、素晴らしい口頭発表を行った学生員に対してBPA(Best Presentation Award)が贈

られる。今年度は31名が受賞した。BPA受賞者の氏名は結果が明らかになり次第、直ちに発表され、受賞者本人にも連絡された。当日夕方の懇親会で開催された表彰式には、多くの方々が出席され、友人や指導教員などに囲まれるなか、賞状と副賞が贈呈された(図3)。



図3 卒業研究発表講演会 BPA 表彰式

### 4. 「メカライフの世界」展

小中学生を始め一般の方々に機械工学に対する興味と理解を深めてもらうことを目的として、毎年開催している。今年度は5校で企画された(表1)。横浜国立大学では2012年8月5日~6日のオープンキャンパスの開催に合わせて、機械工学の原点である「ものづくり」の面白さを体験してもらう場を提供する試みを実施した。電気自動車、燃料電池、3Dプリントなどが展示・紹介された。さらに、「流れの力学とその応用」と題して、水や空気の流れについて法則の説明や、水車やポンプなどの機械の最近の研究事例が紹介された。

〔横浜国立大学 白石俊彦〕

表1 2012年度「メカライフの世界」展

学校名	テーマ	開催日
横浜国立大学	社会に貢献する機械工学―「ものづくり」への招待―	8月5日, 6日
東京工業高等専門学校	木材や紙などを使って、空を飛ぶメカを作って遊ぼう!	11月3日, 4日
群馬大学	「メカライフの世界」展 わくわくどきどき、メカニカル! 2012	10月中旬の土曜日
東京工業大学	メカの世界2012	10月6日, 7日
日本大学	ボーイング787で使われているCFRPでサンドイッチを作ろう	11月3日